

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2026 年 第 34 週（8 月 17 日～8 月 23 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12 人	類型 患者 7 人、無症状病原体保有者 5 人 血清型 O157 8 人、O26 1 人、不明 3 人
四類感染症	A 型肝炎	1 人	推定感染地域 国内
	レジオネラ症	3 人	病型 肺炎型 3 人
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3 人	菌種 <i>Escherichia</i> sp. 2 人、 <i>Klebsiella</i> sp. 1 人
	急性脳炎	1 人	病原体 不明
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人	血清群 B 群 1 人、G 群 1 人
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人	
	侵襲性肺炎球菌感染症	2 人	
	梅毒	4 人	病型 早期顕症 I 期 2 人、 無症状病原体保有者 2 人
	百日咳	7 人	年齢階級 1-4 歳 3 人、10 歳代 2 人、 20 歳代 1 人、40 歳代 1 人

＜定点把握疾患の患者情報＞

インフルエンザ（1.67*→1.83：図 1）の定点当たり報告数は、第 31 週以降、増加傾向にある。年齢階級別では、9 歳以下の報告が全体の約 52%であった。基幹定点におけるインフルエンザ（入院）の報告数は 8 人（前週 6 人）であった。手足口病（4.29→2.11：図 2）の定点当たり報告数は、第 29 週をピークに減少が続いているものの、やや高い水準にある。年齢階級別では、1 歳の報告が全体の約 37%と最も多く、2 歳以下の報告が全体の約 76%となっている。新型コロナウイルス感染症（1.41*→1.67：図 3）の定点当たり報告数は、前週の値を上回った。基幹定点における新型コロナウイルス感染症（入院）の報告は 4 人（前週 9 人）であった。急性呼吸器感染症（54.35*→54.18：図 4）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 1 人、流行性角結膜炎 16 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎 20 人（定点当たり報告数 1.67）の報告があり（図 5）、前週と比較して増加した。その他の基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 3 人の報告があった。

*遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載

○全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構（JHIS）感染症情報提供サイト（URL：<https://id-info.jhis.go.jp/>）で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

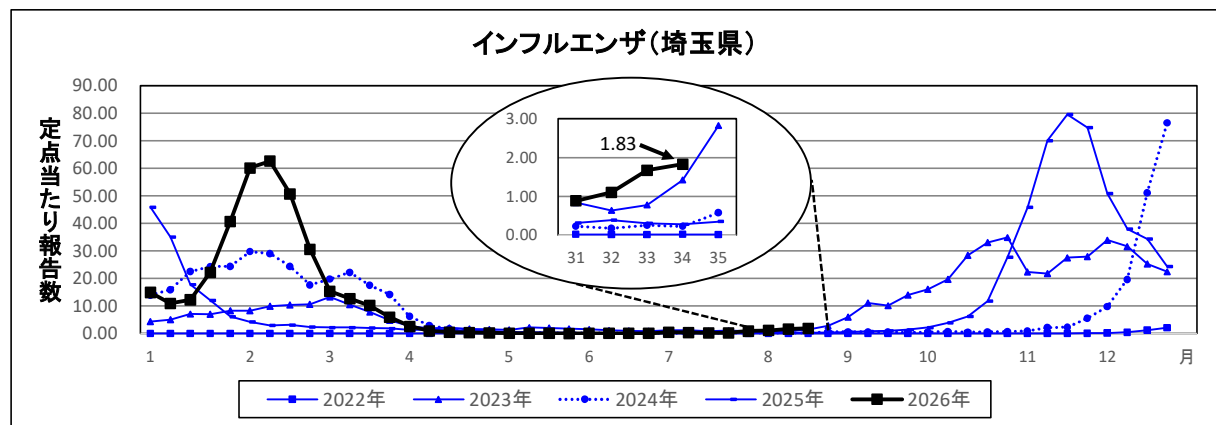


図2 手足口病の定点当たり報告数の推移

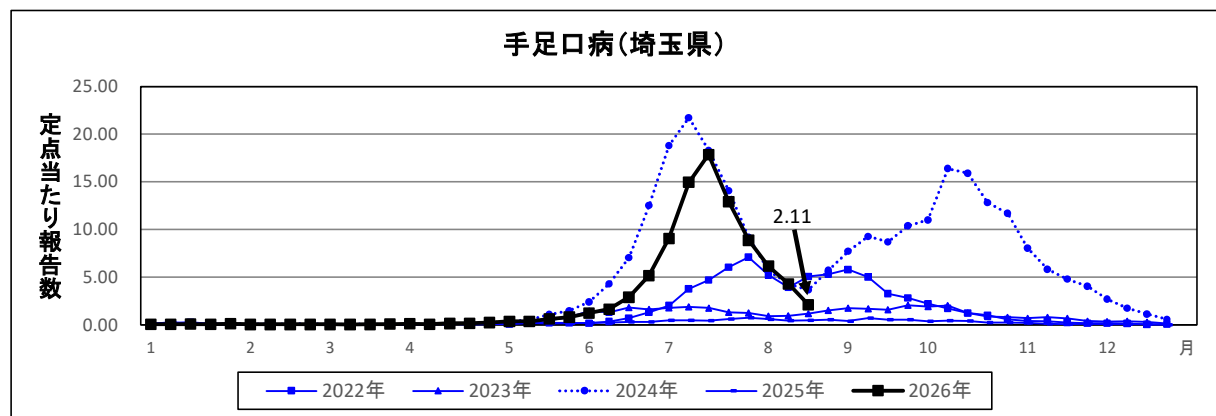


図3 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

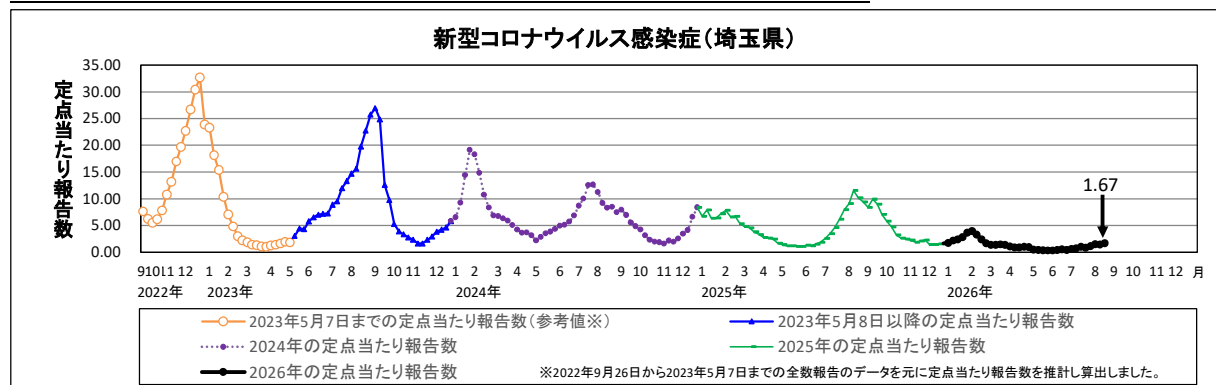
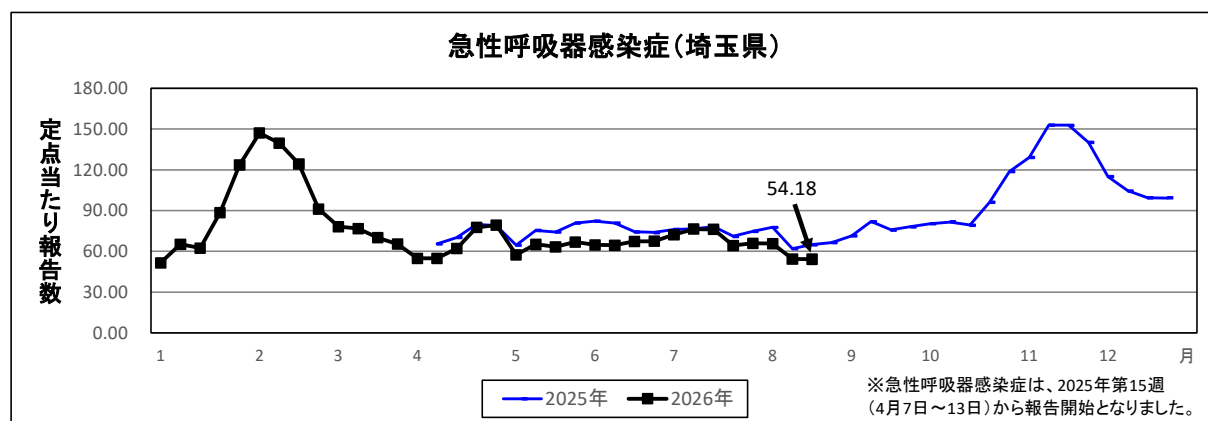


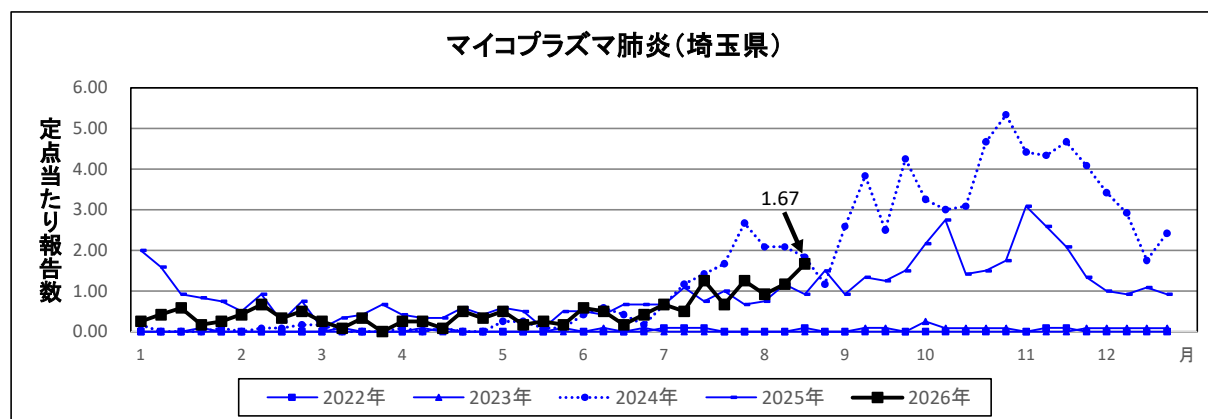
図4 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



急性呼吸器感染症における病原体検出状況は以下のページに掲載しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html>

図5 マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第34週)

(2026年8月25日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核 * 1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		3
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	12	118			
四類感染症					
E型肝炎		50	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎	1	11	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
エムボックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	3	104
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		1	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		19	水痘(入院例に限る)		16
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		13	先天性風しん症候群		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	27	多剤耐性緑膿菌感染症		2
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	4	322
急性脳炎	1	41	播種性クリプトコックス症		3
クリプトスポリジウム症			破傷風		5
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	41	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群		27	百日咳	7	319
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	27	麻しん		40
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター 感染症		1
侵襲性肺炎球菌感染症	2	73			

累計は診断週で集計

* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)				報告患者数				保健所別				(2026年第34週				8月17日～8月23日)									
保健所		インフル エンザ #1	新型コロナ ウイルス 感染症	急性呼吸器 感染症	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)		
全 県	報告数	307	281	9,103	74	26	148	341	38	222	7	34	83	7	1	16	-	3	20	-	-	8	4		
	定点当たり	1.83	1.67	54.18	0.70	0.25	1.41	3.25	0.36	2.11	0.07	0.32	0.79	0.07	0.02	0.38	-	0.25	1.67	-	-	0.67	0.33		
朝 霞	報告数	56	41	982	4	1	9	32	5	19	1	3	1	-	-	4	-	1	3	-	-	1	-		
	定点当たり	3.73	2.73	65.47	0.44	0.11	1.00	3.56	0.56	2.11	0.11	0.33	0.11	-	-	0.80	-	1.00	3.00	-	-	1.00	-		
鴻 巣	報告数	24	23	1,352	2	-	26	23	2	17	4	4	2	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	2.18	2.09	122.91	0.33	-	4.33	3.83	0.33	2.83	0.67	0.67	0.33	-	-	0.67	*	*	*	*	*	*	*		
東 松 山	報告数	-	1	246	2	-	2	34	2	6	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	定点当たり	-	0.25	61.50	0.67	-	0.67	11.33	0.67	2.00	-	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-		
秩 父	報告数	3	9	68	-	1	2	-	-	3	-	-	2	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-		
	定点当たり	0.75	2.25	17.00	-	0.33	0.67	-	-	1.00	-	-	0.67	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-		
本 庄	報告数	6	11	43	-	-	1	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	定点当たり	2.00	3.67	14.33	-	-	0.50	-	-	0.50	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
熊 谷	報告数	6	15	390	2	-	3	17	-	16	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	定点当たり	0.67	1.67	43.33	0.40	-	0.60	3.40	-	3.20	-	-	1.40	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-		
加 須	報告数	7	8	58	2	-	2	-	-	6	-	3	2	1	-	1	-	-	2	-	-	-	-		
	定点当たり	1.40	1.60	11.60	0.67	-	0.67	-	-	2.00	-	1.00	0.67	0.33	-	1.00	-	-	2.00	-	-	-	-		
春 日 部	報告数	8	8	531	11	-	9	15	7	12	-	-	6	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	1.33	1.33	88.50	3.67	-	3.00	5.00	2.33	4.00	-	-	2.00	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
幸 手	報告数	20	30	709	10	1	16	11	4	17	-	-	4	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	2.22	3.33	78.78	2.00	0.20	3.20	2.20	0.80	3.40	-	-	0.80	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
坂 戸	報告数	4	4	205	-	-	2	8	-	7	-	-	2	1	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
	定点当たり	1.00	1.00	51.25	-	-	0.67	2.67	-	2.33	-	-	0.67	0.33	-	-	-	-	4.00	-	-	-	-		
草 加	報告数	10	9	387	9	3	7	24	1	17	-	3	9	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	0.91	0.82	35.18	1.29	0.43	1.00	3.43	0.14	2.43	-	0.43	1.29	-	-	0.67	*	*	*	*	*	*	*		
狭 山	報告数	53	51	634	4	5	15	24	2	28	1	4	5	4	1	-	-	-	3	-	-	1	1		
	定点当たり	4.08	3.92	48.77	0.40	0.50	1.50	2.40	0.20	2.80	0.10	0.40	0.50	0.40	0.20	-	-	-	3.00	-	-	1.00	1.00		
南 部	報告数	8	3	363	1	1	18	20	-	3	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	定点当たり	1.60	0.60	72.60	0.33	0.33	6.00	6.67	-	1.00	-	0.33	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
川 越 市	報告数	22	11	491	4	1	7	13	6	17	-	3	2	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	2.44	1.22	54.56	0.80	0.20	1.40	2.60	1.20	3.40	-	0.60	0.40	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
越 谷 市	報告数	2	6	261	-	-	-	1	-	4	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1		
	定点当たり	0.29	0.86	37.29	-	-	-	0.25	-	1.00	-	-	0.50	-	-	-	-	1.00	1.00	-	-	-	1.00		
川 口 市	報告数	32	11	637	5	1	2	54	4	18	1	4	14	-	-	4	-	-	-	-	-	1	1		
	定点当たり	2.29	0.79	45.50	0.63	0.13	0.25	6.75	0.50	2.25	0.13	0.50	1.75	-	-	1.00	-	-	-	-	-	1.00	1.00		
さいたま市	報告数	46	40	1,746	18	12	27	65	5	31	-	7	17	1	-	3	-	1	7	-	-	3	1		
	定点当たり	1.18	1.03	44.77	0.69	0.46	1.04	2.50	0.19	1.19	-	0.27	0.65	0.04	-	0.38	-	1.00	7.00	-	-	3.00	1.00		

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

8月 25日 13:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)				報 告 患 者 数				年 齢 別				(2026年第34週				8月17日～8月23日)							
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
インフルエンザ #1	307	-	7	13	19	16	20	21	22	16	18	9	24	16	15	26	24	21	9	10	1		
新型コロナウイルス感染症	281	1	5	14	17	9	11	5	11	7	7	5	15	8	29	33	31	31	17	19	6		
	合計	0歳		1-4				5-9					10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
急性呼吸器感染症	9,103	690		3,173				1,866					689	309	415	468	375	403	266	265	184		
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～								
RSウイルス感染症	74	13	14	29	8	2	6	1	-	1	-	-	-	-	-								
咽頭結膜熱	26	1	2	7	5	4	1	4	2	-	-	-	-	-	-								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	148	-	-	2	12	12	13	20	25	11	11	4	19	2	17								
感染性胃腸炎	341	3	32	54	30	27	26	23	23	16	12	16	45	15	19								
水痘	38	-	-	4	-	1	1	7	4	2	7	4	7	1	-								
手足口病	222	5	33	83	47	20	7	8	6	4	-	3	2	-	4								
伝染性紅斑	7	-	-	1	2	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-								
突発性発しん	34	2	6	18	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
ヘルパンギーナ	83	-	10	31	17	7	8	2	3	2	-	1	1	1	-								
流行性耳下腺炎	7	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	1	-	-								
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～			
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-			
流行性角結膜炎	16	-	-	-	2	-	1	-	-	-	2	-	-	-	3	4	2	2	-	-			
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～						
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
無菌性髄膜炎	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1						
マイコプラズマ肺炎	20	-	8	7	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
インフルエンザ(入院)	8	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	4						
新型コロナウイルス感染症(入院)	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1						

※ 表中の数値は各定点からの報告数（-：0）

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第31週 (7月27日～8月2日)

令和8年8月26日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,733):インフルエンザの定点当たり報告数は第26週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.20)、青森県(1.52)、埼玉県(0.89)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は57例と前週と比較して増加した。都道府県別では21都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(2例)、1～9歳(18例)、10代(2例)、30代(1例)、50代(3例)、60代(7例)、70代(13例)、80歳以上(11例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県(6.30)、山口県(6.00)、愛媛県(5.53)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は268例と前週と比較して増加した。都道府県別では45都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(31例)、1～9歳(76例)、10代(5例)、20代(5例)、30代(10例)、40代(8例)、50代(10例)、60代(20例)、70代(43例)、80歳以上(60例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,724)定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(72.16)、埼玉県(66.01)、栃木県(64.26)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,252):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.54)、鹿児島県(2.19)、福岡県(1.56)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県(1.00)、京都府(0.62)、福岡県(0.60)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(3.33)、島根県(3.27)、鳥取県(3.05)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(8.00)、石川県(6.96)、大分県(5.92)である。水痘の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(1.08)、埼玉県(0.62)、佐賀県(0.58)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(15.04)、群馬県(15.00)、岩手県(12.81)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は和歌山県(0.30)、静岡県(0.21)、大阪府(0.12)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(5.04)、山形県(3.73)、三重県(2.93)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は群馬県(0.12)、兵庫県(0.12)、鳥取県(0.11)である。

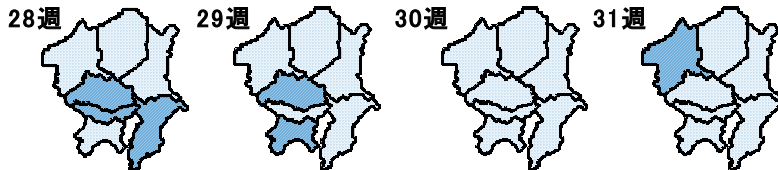
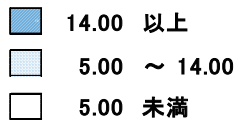
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は群馬県(2.00)、埼玉県(1.25)、愛知県(1.20)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。沖縄県から1例報告があり、年齢群別では10代であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年第31週(7月27日～8月2日)、2026年第32週(8月3日～8月9日):通巻第28巻第31・32合併号より

<関東情報>

手足口病の定点当たり報告数は、群馬県(15.00)からの報告が多い。

手足口病



2026年 31週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	1,384	724	41	8	11	156	84	302	122
	定点当たり	0.37	0.62	0.60	0.17	0.24	0.89	0.47	0.72	0.51
新型コロナウイルス感染症	報告数	6,332	940	95	109	49	193	228	171	95
	定点当たり	1.70	0.80	1.40	2.32	1.09	1.10	1.27	0.41	0.40
急性呼吸器感染症	報告数	167,420	60,515	3,469	3,020	3,247	11,617	8,750	17,914	12,498
	定点当たり	44.96	51.68	51.01	64.26	72.16	66.01	48.61	42.96	52.51
RSウイルス感染症	報告数	1,155	330	13	14	2	80	38	112	71
	定点当たり	0.51	0.46	0.34	0.52	0.08	0.72	0.35	0.43	0.51
咽頭結膜熱	報告数	685	157	8	6	2	36	13	69	23
	定点当たり	0.30	0.22	0.21	0.22	0.08	0.32	0.12	0.26	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	3,094	951	92	79	35	208	166	207	164
	定点当たり	1.37	1.34	2.42	2.93	1.40	1.87	1.52	0.79	1.17
感染性胃腸炎	報告数	7,724	2,463	102	58	138	449	264	993	459
	定点当たり	3.43	3.46	2.68	2.15	5.52	4.05	2.42	3.79	3.28
水痘	報告数	594	200	4	5	4	69	25	75	18
	定点当たり	0.26	0.28	0.11	0.19	0.16	0.62	0.23	0.29	0.13
手足口病	報告数	13,577	5,625	358	279	375	985	734	1,564	1,330
	定点当たり	6.03	7.90	9.42	10.33	15.00	8.87	6.73	5.97	9.50
伝染性紅斑	報告数	94	13	-	-	1	-	4	7	1
	定点当たり	0.04	0.02	-	-	0.04	-	0.04	0.03	0.01
突発性発しん	報告数	666	202	11	10	9	35	22	82	33
	定点当たり	0.30	0.28	0.29	0.37	0.36	0.32	0.20	0.31	0.24
ヘルパンギーナ	報告数	3,579	1,318	100	67	126	226	98	401	300
	定点当たり	1.59	1.85	2.63	2.48	5.04	2.04	0.90	1.53	2.14
流行性耳下腺炎	報告数	94	27	-	2	3	3	5	8	6
	定点当たり	0.04	0.04	-	0.07	0.12	0.03	0.05	0.03	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	5	2	1	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.06	-	-	-	-	0.03	-
流行性角結膜炎	報告数	341	93	17	4	2	16	8	15	31
	定点当たり	0.49	0.46	1.00	0.33	0.20	0.37	0.24	0.38	0.62
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	26	8	2	-	-	-	1	2	3
	定点当たり	0.05	0.09	0.15	-	-	-	0.11	0.08	0.25
マイコプラズマ肺炎	報告数	167	53	6	1	18	15	1	7	5
	定点当たり	0.35	0.61	0.46	0.14	2.00	1.25	0.11	0.28	0.42
クラミジア肺炎 #3	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

全国・関東情報

第32週 (8月3日～8月9日)

令和8年8月26日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,683):インフルエンザの定点当たり報告数は第26週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.30)、宮城県(1.64)、新潟県(1.64)、山形県(1.31)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は78例と前週と比較して増加した。都道府県別では24都道府県から報告があり、年齢群別では1～9歳(24例)、10代(5例)、20代(2例)、30代(1例)、40代(1例)、50代(7例)、60代(8例)、70代(16例)、80歳以上(14例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は島根県(7.10)、山口県(6.16)、愛媛県(5.16)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は240例と前週と比較して減少した。都道府県別では44都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(24例)、1～9歳(73例)、10代(9例)、20代(5例)、30代(10例)、40代(8例)、50代(8例)、60代(7例)、70代(44例)、80歳以上(52例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,674)定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は群馬県(74.60)、埼玉県(62.75)、岩手県(61.67)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,219):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.54)、福岡県(2.41)、佐賀県(2.33)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は島根県(1.09)、福岡県(0.77)、佐賀県(0.67)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(4.19)、島根県(3.18)、鳥取県(2.68)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は石川県(7.04)、福井県(6.68)、大分県(6.14)である。水痘の定点当たり報告数は第29週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(1.08)、京都府(0.68)、新潟県(0.57)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は岩手県(15.37)、山形県(12.12)、宮城県(10.45)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第29週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(0.31)、新潟県(0.20)、徳島県(0.14)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は群馬県(3.76)、宮城県(3.23)、新潟県(3.23)、山形県(3.00)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は奈良県(0.13)、沖縄県(0.13)、島根県(0.09)である。

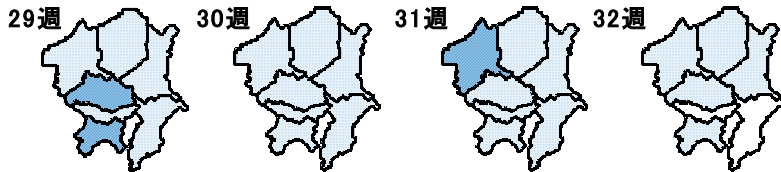
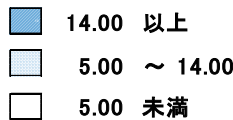
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は香川県(1.60)、群馬県(1.33)、愛知県(0.93)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は横ばいであった。岩手県から1例報告があり、年齢群別では5～9歳であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年第31週(7月27日～8月2日)、2026年第32週(8月3日～8月9日):通巻第28巻第31・32合併号より

<関東情報>

手足口病の定点当たり報告数は、群馬県(10.20)、栃木県(8.74)、神奈川県(6.80)、埼玉県(6.15)、茨城県(5.76)で全国平均(4.69)を上回った。

手足口病



2026年 32週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	1,926	916	35	18	28	189	96	336	214
	定点当たり	0.52	0.81	0.52	0.38	0.62	1.09	0.55	0.84	0.93
新型コロナウイルス感染症	報告数	6,578	1,188	155	149	91	239	247	178	129
	定点当たり	1.79	1.04	2.31	3.17	2.02	1.38	1.40	0.45	0.56
急性呼吸器感染症	報告数	161,935	57,294	3,189	2,876	3,357	10,856	8,343	16,407	12,266
	定点当たり	44.08	50.30	46.90	61.19	74.60	62.75	47.40	41.02	53.33
RSウイルス感染症	報告数	1,417	434	21	28	5	69	52	157	102
	定点当たり	0.64	0.63	0.55	1.04	0.20	0.64	0.49	0.63	0.74
咽頭結膜熱	報告数	604	126	6	4	15	32	13	41	15
	定点当たり	0.27	0.18	0.16	0.15	0.60	0.30	0.12	0.16	0.11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	2,880	826	61	54	50	198	127	183	153
	定点当たり	1.30	1.20	1.61	2.00	2.00	1.83	1.19	0.73	1.12
感染性胃腸炎	報告数	7,674	2,329	137	57	130	385	273	959	388
	定点当たり	3.46	3.37	3.61	2.11	5.20	3.56	2.55	3.85	2.83
水痘	報告数	555	152	3	3	11	34	23	45	33
	定点当たり	0.25	0.22	0.08	0.11	0.44	0.31	0.21	0.18	0.24
手足口病	報告数	10,403	3,688	219	236	255	664	459	923	932
	定点当たり	4.69	5.34	5.76	8.74	10.20	6.15	4.29	3.71	6.80
伝染性紅斑	報告数	85	23	-	-	2	7	6	7	1
	定点当たり	0.04	0.03	-	-	0.08	0.06	0.06	0.03	0.01
突発性発しん	報告数	652	207	7	11	14	28	32	73	42
	定点当たり	0.29	0.30	0.18	0.41	0.56	0.26	0.30	0.29	0.31
ヘルパンギーナ	報告数	2,915	954	53	42	94	151	74	259	281
	定点当たり	1.31	1.38	1.39	1.56	3.76	1.40	0.69	1.04	2.05
流行性耳下腺炎	報告数	73	27	3	-	-	2	6	13	3
	定点当たり	0.03	0.04	0.08	-	-	0.02	0.06	0.05	0.02
急性出血性結膜炎	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	337	106	22	8	-	16	3	22	35
	定点当たり	0.50	0.57	1.29	0.67	-	0.39	0.10	0.61	0.85
細菌性髄膜炎 #2	報告数	3	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	24	5	-	-	-	-	-	5	-
	定点当たり	0.05	0.06	-	-	-	-	-	0.20	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	192	56	5	3	12	11	4	11	10
	定点当たり	0.40	0.64	0.38	0.43	1.33	0.92	0.44	0.44	0.83
クラミジア肺炎 #3	報告数	6	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査 2026年

▶ [感染症の流行状況 2026年 第1週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第2週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第3週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第4週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第5週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第6週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第7週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第8週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第9週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第10週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第11週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第12週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第13週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第14週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第15週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第16週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第17週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第18週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第19週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第20週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第21週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第22週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第23週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第24週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第25週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第26週](#)

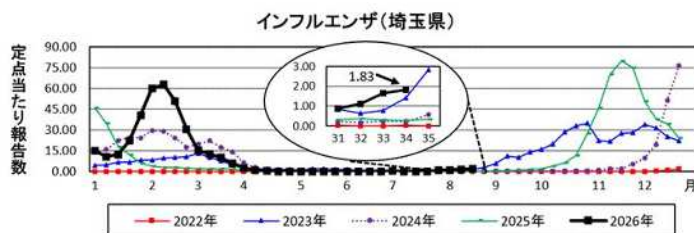
▶ [感染症の流行状況 2026年 第27週](#)

感染症の流行状況 2026年 第34週

2026年第34週（8月17日～8月23日）の要点

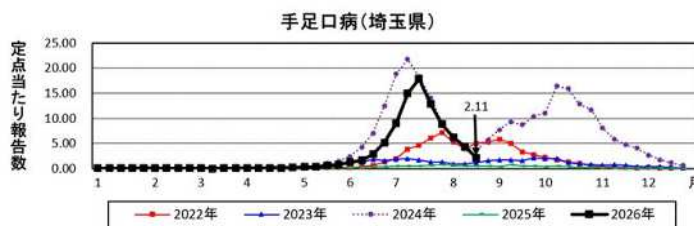
定点把握対象疾患（インフルエンザ）

定点当たり報告数は、第31週以降、増加傾向にあります。



定点把握対象疾患（手足口病）

定点当たり報告数は、第29週をピークに減少が続いているものの、やや高い水準です。



感染予防のため、[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	↓	★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
急性呼吸器感染症	→	—	突発性発疹	→	★
RSウイルス感染症	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	→	★	流行性角結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が変更となりました。疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。